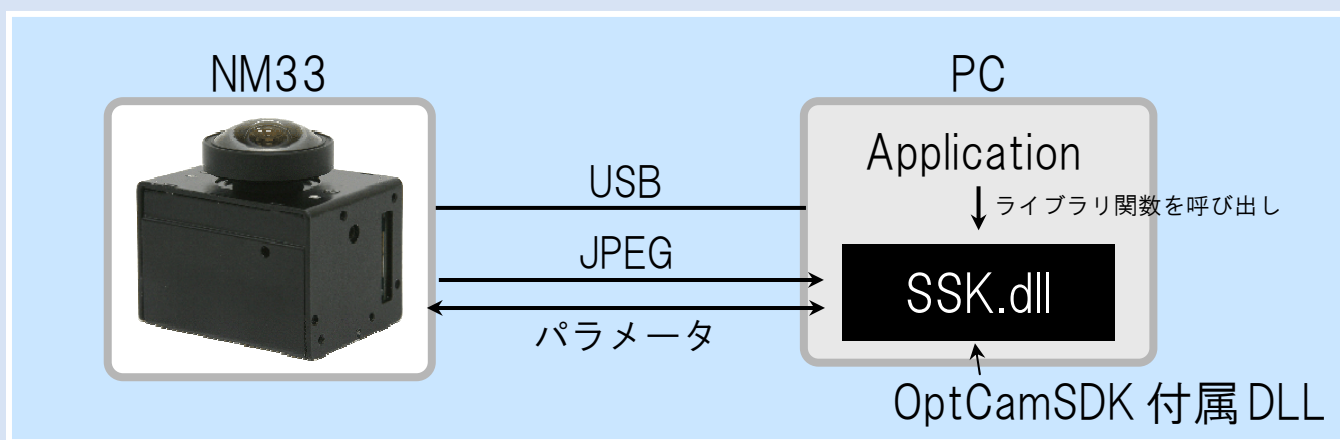




NM33 をつなぐすべてのアプリケーションに

OptCamSDK は、NM33 を操作する Windows 用アプリケーションを開発するためのソフトウェア開発キットです。

NM33 の画像を JPEG フォーマットで PC に取り込んだり、視野を移動したり、画質を調整したりするなど、NM33 の主要な操作を、ライブラリ関数を呼び出すことで行なえます。



例えば、画像をメモリに取り込むだけなら、呼び出すライブラリ関数はこれだけで OK。

nm30_select()	カメラを選択します。
nm30_init()	カメラを初期化します。
nm30_start_capture()	キャプチャを開始します。
nm30_grab_frame()	画像をキャプチャします。
nm30_retrieve_frame()	画像を取り出します。

USB コマンドの知識が不要です。

例えば、UVC (USB Video Class 対応) 版カメラの画像を取り込む場合、これまで DirectShow などの知識が必要で、多くのコーディングが必要でした。

OptCamSDK では、複雑な部分を操作する必要がなく、より簡単にアプリケーション開発ができます。

関数仕様は、専用ドライバ版と UVC 版で共通です。

DLL ファイルは専用ドライバ版と UVC 版で異なりますが、API 関数の仕様は共通です。

専用ドライバ版で開発したアプリケーションは、DLL を差し替えるだけで、UVC 版で使用することができます。

● 動作環境

OS	Windows XP SP2 / Windows Vista
PC	上記 OS が正常に動作する環境 (推奨スペック)
CPU	Pentium3 以上 (Pentium4/M/D/Dual-Core/CoreSolo/Duo 等)
メモリ	256MByte (Vista の場合は 768MByte) 以上
HDD	20GByte 以上

● 開発環境

PC	動作環境と同等以上の性能
コンパイラ	Microsoft 社製 Visual Studio 2005 以降

オプト株式会社  
〒391-0013  
長野県茅野市宮川 5423-2  
電話 : 0266-82-0020  
Fax : 0266-82-0022  
E-mail : opt-toiawse@optnagano.co.jp